

神

奈川県から2021年、白糠町に引っ越してきました六田晴洋です。ディレクターや写真家として野生生物の映像や写真を撮って、NHKの番組や本を作る仕事などを行っています。

今回から不定期で、白糠町を中心に自然や生き物、植物などを紹介する記事を書かせていただくことになりました。このコーナーを通して、町民の皆さんに自然の大切さや生き物の尊さを身近に感じてもらえたらうれしいです。そして今、世界ではどのような環境の変化が起きているのか、それは生き物や植物にどのような影響を及ぼしているのか、そういったことを考え、行動してもらおうきっかけになればと思います。白糠高校でも今年度から「環境」をテーマにした授業をしていると聞きました。白糠町の豊かな自然環境とその恵みを大切に思う心を育む、とてもすばらしい取り組みだと思っています。

「トガリネズミって知ってる?」

私は「トガリネズミ」という動物のことを知りたくて、白糠町に



2022年7月撮影。トウキョウトガリネズミは、体重2グラムととても軽いで細い草の上に登ることができます。



トガリネズミラヴァー 六田晴洋の 私たちの ご近所さん



VOL. 1

「トウキョウトガリネズミ」

移住してきました。白糠町は、北海道に分布する4種のトガリネズミが全て生息しているすばらしいところですよ。

皆さんはトガリネズミを知っていますか? 名前はネズミですが、本当はネズミではなくモグラに近い動物です。ちなみに北海道にモグラはいません。よく「モグラを見た」という話を聞きますが、大抵の場合はそれがトガリネズミです。とがった鼻につぶらな目をした、かわいらしい動物です。

北海道にいる4種のトガリネズミのうち「トウキョウトガリネズミ」は、世界で最も小さい哺乳類の一つです。大きさは5センチ。体重は2グラムしかありません。5センチと書くと「意外と大きい」と思いかもしれませんが、普段は少し丸まっていることが多いので、実際に感じる大きさは3センチくらいです。私は初めてトウキョウトガリネズミを見たとき、あまりの小ささに「これが自分と同じ哺乳類か!」と心底驚きました。

私はトガリネズミを追っているうちに、白糠町の豊かな自然と出会うようになりました。元々「トガリネズミがいるから」という理由だけで白糠町に住むことを決めた私ですが、今では白糠町の自然をもっと広く深く知りたいと思っています。そこで皆さんにお願いがあります。生き物の情報がありましたら、教えていただけないでしょうか。例えば、タヌキは「ため糞」と言って、一箇所に糞を繰り返すする習性があります。ですので、ため糞場で待っていただければタヌキに出会えるというわけなんです。そうした痕跡などの情報でも大歓迎です。うまく撮影できたら、このコーナーで紹介できます。皆さんと一緒にこのページを盛り上げていきたいと思っています。

PROFILE 六田晴洋

ろくたはるひろ 1986年生まれ。2021年に白糠町へ移住。大学卒業後、フリーランスのカメラマンやディレクターとして野生動物や自然風景を撮影している。
E-mail rokuta@six-h.com